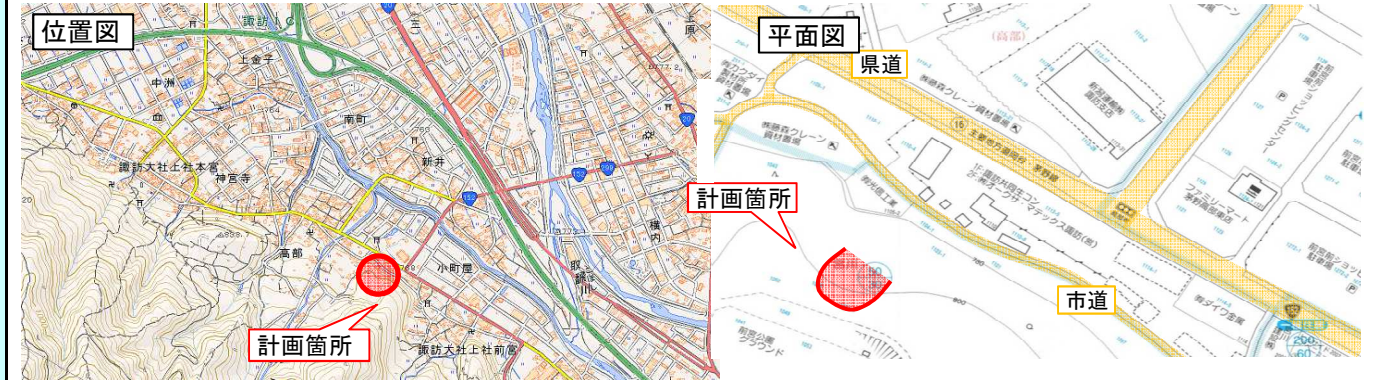


(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—		
事業毎の通番		4	市町村名	茅野市	箇所名(ふりがな)	高部(たかべ)		
事業概要	事業目的	過去に災害履歴のある保安林内において、最近になってから斜面冠頭部でクラック・段差の発生が顕在化し、不安定な状態となっている。斜面下方には幹線道路や事業所等の重要な保全対象が存在するため、今後の豪雨等により崩壊へと至った場合、多大な被害が発生する恐れがあることから、山腹工(補強土工)による斜面の安定化を図る。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	森林法			
	関連する事業、計画等	「高部・安国寺地区歴史環境整備事業」(茅野市)						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	事業所2戸、県道120m、市道50m						
	着手年度	平成28年度	事業期間	2年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果	3.36		国庫	その他	県債
全体事業内容(主な工種)	山腹工 0.08ha 斜面補強土工(鉄筋挿入工法) 800㎡			66,000	33,000		29,700	3,300
年度事業内容(主な工種)	山腹工 0.03ha 斜面補強土工(鉄筋挿入工法) 300㎡			32,000	16,000		14,400	1,600
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	事業所2戸、県道120m、市道50mの保全						
	間接的効果(定量的・定性的)	森林景観の維持・保全						
評価の視点	必要性	○人家戸数:	2戸	事業所2戸(諏訪共同生コン、(有)光信工業)	評価		B	
		○公共施設数:	2箇所	県道120m、市道50m				
		○災害時要援護者関連施設の有無:	無					
		○保安林・林業用施設:	保安林率100%	土砂流出防備保安林(S43.7.8)				
	重要性	○過去の災害履歴:	有	昭和40年7月豪雨災害	評価		A	
		○交通遮断による地域経済への影響:	大	地域の幹線道路(西街道)、観光・祭りに利用される重要道路				
	○地域防災計画上の位置付け:	有	長野県地域防災計画、茅野市地域防災計画					
効率性	○費用対効果(B/C):	3.36	評価		A			
	○事業期間:	2年間 (H28~H29)						
	○工法等の比較検討:	有	従来工法(法枠工)と新工法(自然斜面補強土工法)					
緊急性	○流域の地形、地質:	火山噴出物 第四紀安山岩	評価		A			
	○平均溪床勾配(平均山腹勾配):	45° ~60°						
	○下流の堰堤等の整備状況:	無						
計画熟度	○事業情報の共有:	関係者を中心に周知	評価		A			
	○地域の取り組み:	積極的な取り組みがある						
	○地域の合意形成:	合意形成が図られている						
	○住民との協働:	日常の見回り・点検等を継続していく予定						
部意見	斜面頭部で変状があり、放置すれば拡大する恐れが高い。直下に保全対象があることから対策工を行う必要がある。	行政改革課意見	斜面冠頭部で段差が発生し、不安定な状態となっている。保全対象には事業所、県道、市道があることから、緊急性が認められる。	○	総合評価	A		

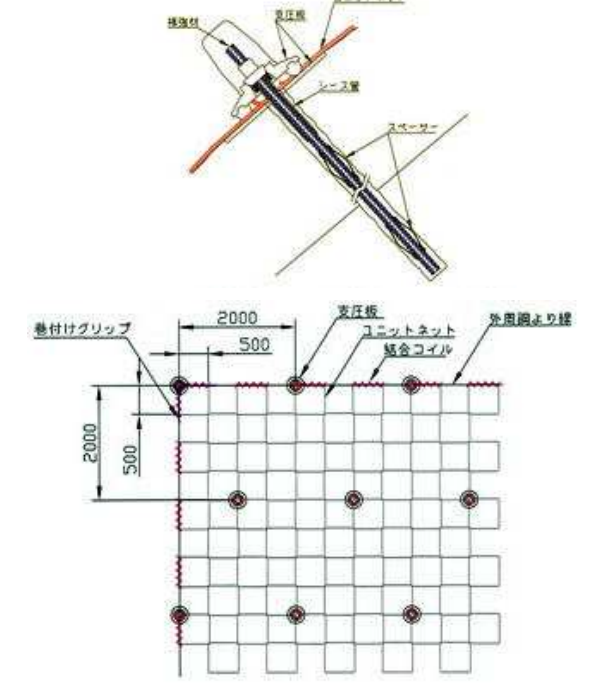
【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



【標準図】



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	昭和40年7月豪雨により、道路や農地へ土砂が流出した災害履歴地で、斜面下方には地域の幹線道路や、社会インフラ整備に係るコンクリート工場など、重要な保全対象が存在する箇所である。斜面は森林化が進みつつあるが、表土が不安定であり、倒木も発生し始めている。また、一帯は土砂災害特別警戒区域(急傾斜)にも指定されていることから、治山対策のニーズが高まっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	豪雨等による山腹崩壊を危惧して、平成26年2月28日に高部区長より県へ治山工事の要望書が出された。平成27年3月に、地元住民が斜面冠頭部でクラック・段差が発生しているのを発見し、同年4月13日に県と市とで現地調査を実施。地域でできる対応を依頼したところ、住民自身でクラック箇所へのブルーシート設置、簡易変位板(抜き板)の設置が行われた(観測は県と市で継続実施中)。
③事業説明等の経緯	斜面下方の事業所2戸へは、市から亀裂斜面の状況説明や注意喚起を実施済み。平成27年7月13日に区役員へ、県から事業構想について説明して合意形成を図った。今後、事業実施が具体的になった段階で、地域住民への説明会を開催する予定である。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	「高部・安国寺地区歴史環境整備事業」(茅野市)により、諏訪大社上社前宮周辺の総合的な環境整備のために遊歩道などが整備される予定で、本事業はこの環境整備や遊歩道保全にも資するものである。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	新工法(自然斜面補強土工法)を採用する。従来工法(法枠工等)と異なり、網状の開放型法面工を形成するため、樹木の伐採は不要であり、森林の保護や景観の保全を図ることが可能である。近隣道路は、観光客が多数通行し、御柱の里曳きルートでもあることから、景観の維持・保全への配慮は重要である。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、地域の物流のみならず、重要な祭事や観光に係る幹線道路が保全され、観光を中心とした地域活性化への貢献も期待できる。本事業を契機に、住民自身による斜面の点検や森林管理等の自主防災を促していく。
⑦その他	採用工法は従来工法と比較して、森林景観の維持・保全を図られるだけでなく、コスト的にも有利である。

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 35° 59'38" 59
東経:E 138° 7'53" 48